

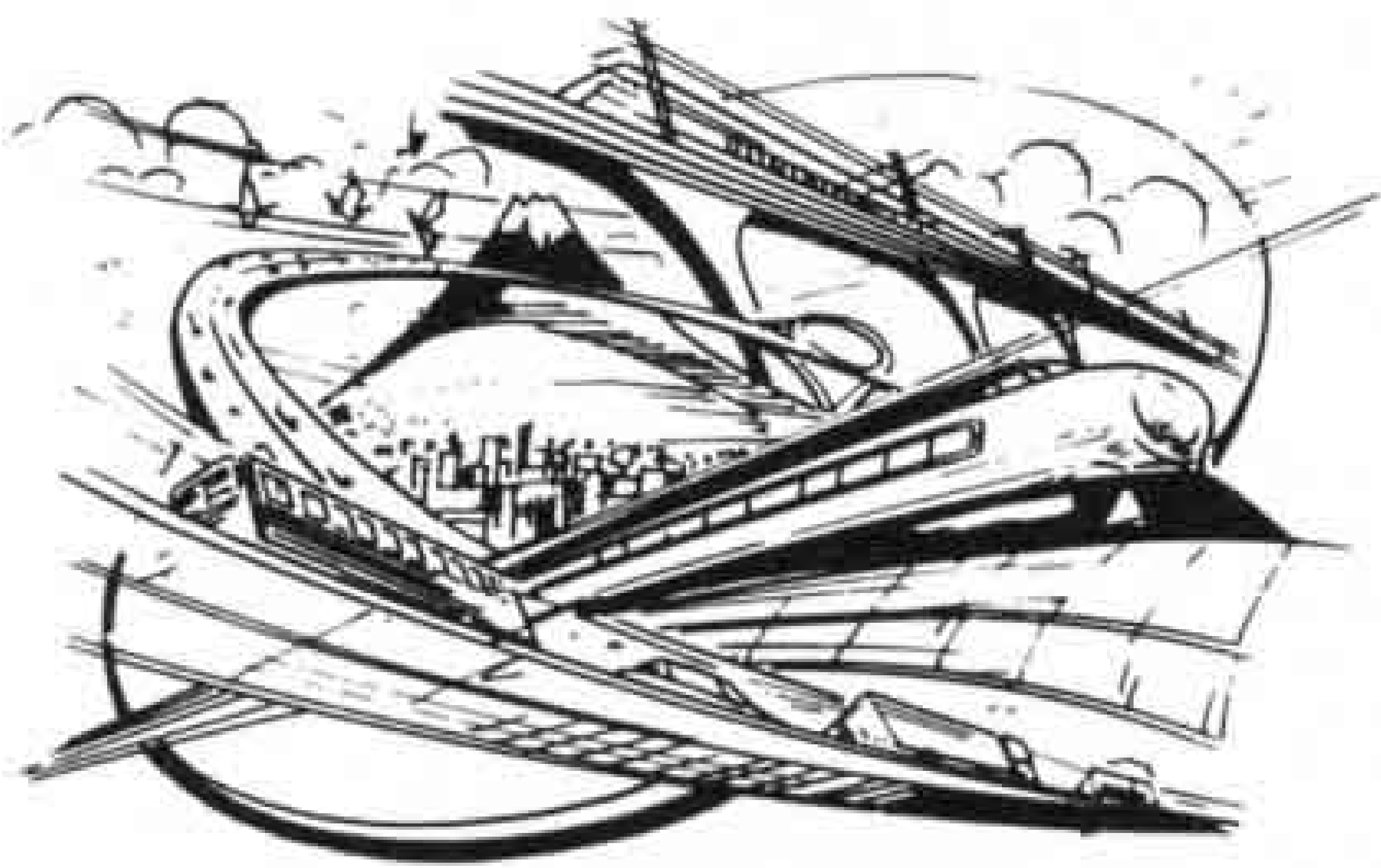
テーマは「美しい富士山を世界の人々に」

開業まであと8ヵ月

私たちの長年の夢であった、新幹線富士駅（仮称）新設事業は、昭和五十九年十月承認決定されて以来、用地取得や列車の発着線工事など順調に進行してきました。六月には、いよいよ駅舎の建築が始まり、来年三月の開駅に向け、急ピッチで工事は進んでいます。これから駅の全容が徐々にあらわれてきますが、駅舎や都市側施設はいたるところから富士山を見ることができ、明るくスマートで清潔感あふれる駅となります。今回は都市側施設を中心に駅舎の施設を紹介します。

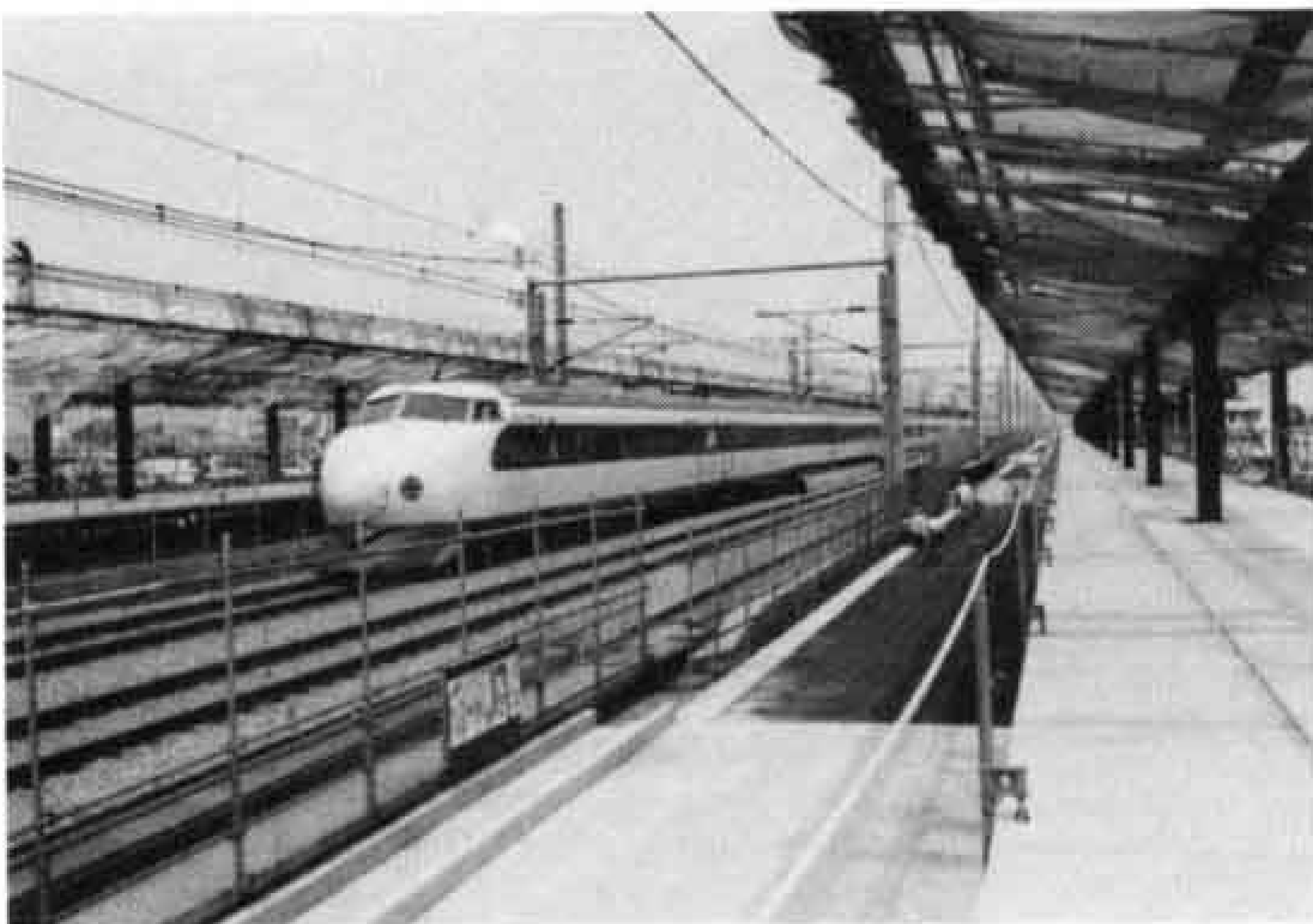
着々と進む工事

威勢のよいつち音が響く、川成島地先の新幹線新駅工事現場。工事の進行状況は極めて順調で、土木工事はほとんど終了し、現在はプラットホームの上家工事や駅舎の建築工事に入っています。



年内には駅の外観がおおむね完成の見込みで、来年二月中には予定通り「こだま号」が富士に発着します。

現在の新駅設置総事業費の予定額は、百三十二億四千四百万円。内訳は、国・県等からの補助金が三十二億八千九百万円、地元負担額が九十九億五千五百万円です。



▷急ピッチで進む工事

みんなが広く 利用できます

新幹線新駅の大きな特徴は、「美しい富士山を世界の人々に」を基本テーマとした近代的でスマートな駅舎の外観と、合わせて建てられる都市側施設です。

都市側施設には、総合観光案内所、やすらぎの広場、産業や観光・物産の展示場、レストラン、喫茶コーナーなどが設けられます。これらの施設は、単に降り降りする人たちだけでなく、市民の皆さんに広く活用していただき、市のイメージアップをはかる機能も備えています。

文化性があり

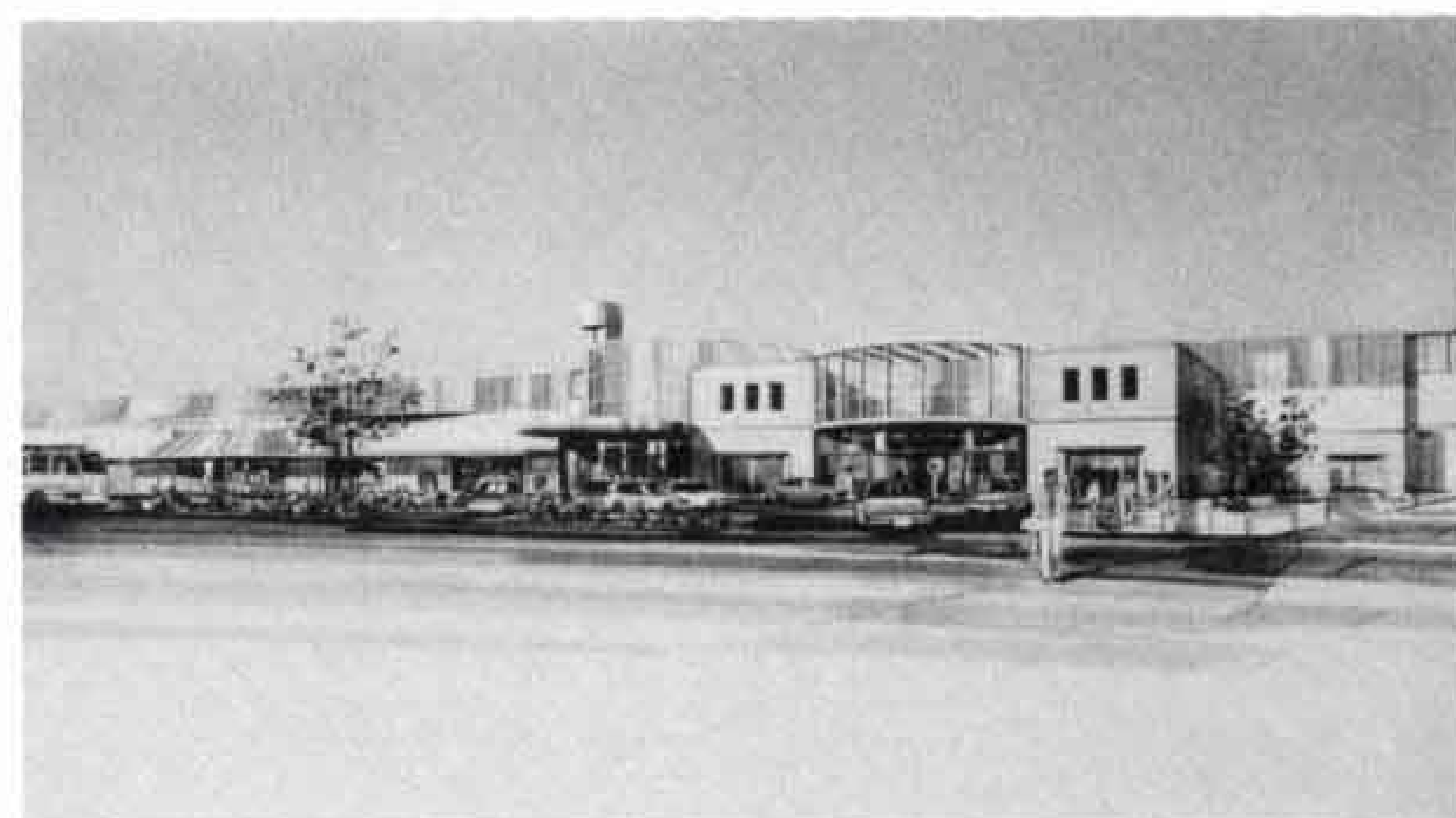
なごめる駅

それでは皆さんを一足早く新幹線新駅にご案内いたしましょう。（左上の図を参照しながら読んでください。）

新幹線富士駅のホームに立った皆さんは、だれもがまず雄大な富士山に目を奪われます。

「やっぱり富士山は日本一の山ね」などという話し声を響かせながら階段を降り、改札口を抜けると、目の前に大きな陶板の壁画。富士に伝わるかぐや姫、源平の富士川合戦、富士の巻き狩りなどを巻き絵風にした作品です。

自由通路（コンコース）を北に足を向けると、左側に総合観光案内所があります。富士山を中心とし



△新幹線新駅完成予想図

た観光・宿泊・イベントなどの案内は、すべてここでわかります。各種の情報を仕入れたところで一休み。旅の疲れをいやす絶好の場所が、やすらぎの広場です。水をモチーフにした流れる池や、二十一世紀の富士市の姿をあらわしたステンドグラスもあり、待ち合わせなどにも利用できます。やすらぎの広場の奥には、喫茶コーナーも設けられています。

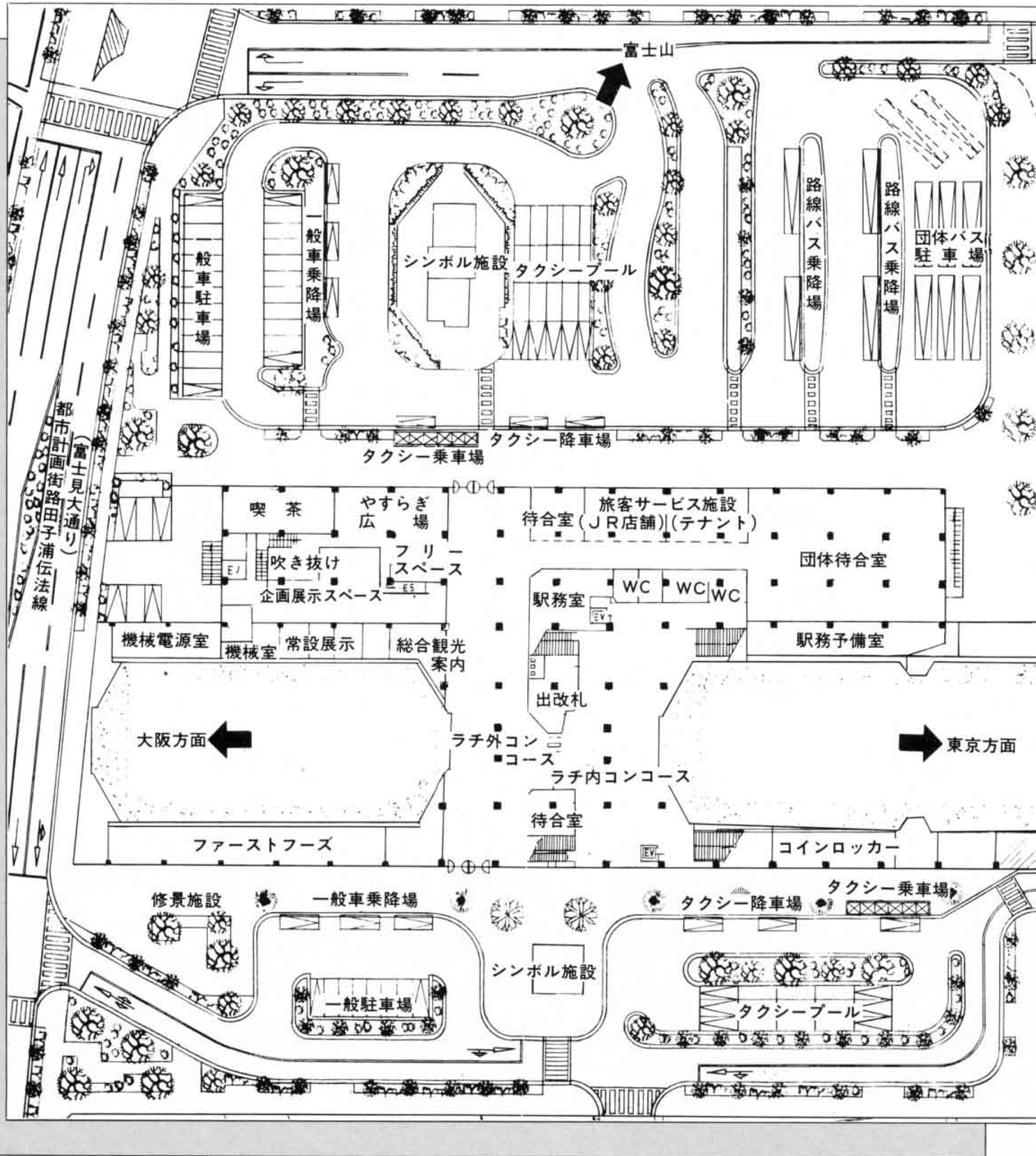
富士市を紹介する

コーナーも設置

やすらぎの広場で一服しながら周りを見渡すと、南側に各種の展示場があります。ここは、富士市の産業・観光・物産を展示するコーナーです。民間企業のピーアールの場としても利用でき、産業等の常設展示場、観光・物産などの紹介に利用していただける企画展示場があります。

駅舎の

新幹線駅



**富士山を眺めながら
食事を楽しむ**

エスカレーターを使い二階に上がると、レストラン、特別サロン、多目的ギャラリーがあります。

新駅の概要

- ◇新駅の位置 富士市川成島字上川成
中心 東京起点135km付近
- ◇新駅の建設事業費 132億4,400万円
内訳 (新駅設置事業費 106億円
駅前広場設置事業費26億4,400万円
国・県等からの補助金 32億8,900万円
地元負担額 99億5,500万円
(昭和62年5月現在)
- ◇新駅の概要
 - ホーム 相対式2面4線 (16両対応)
延長 410m
 - 駅舎 JR東海施設面積 約2,936平方m
エスカレーター 2基
身障者用エレベーター 2基
都市側施設面積 約1,440平方m
 - 駅北口広場面積 約8,500平方m
 - 駅南口広場面積 約4,900平方m
 - 駐車場 (短時間送迎用) 北口26台 (内身障者用1台) 南口 11台



富士の型染グループ代表
小山もと子さん(平垣本町)

多目的ギャラリーに期待

レストランは二百八平方メートルの広さがあり、富士山を眺めながら、ゆったりと食事が楽しめます。豪華な内装の特別サロンは、外部からの来賓客の送迎やもてなしを初め、特別会議、商談、転勤やハネムーンのセレモニーなどに利用できます。

また、多目的ギャラリーは、いろいろな催し事に対応できる広場です。市民の皆さんが絵画展・写真展・書道展・華道展などのギャラリーとして使用することもできます。

市民の文化を紹介する場所として、多目的ギャラリーに期待しています。言うまでもなく、新幹線新駅は富士市の新しい玄関・顔となります。ですから、ギャラリーの活用は、私たちにとても、格調の高い作品づくりの励みとなります。

新駅の開業を、富士の型染を広くひろめるチャンスとして楽しみにしています。